

K N O
 小野澤繁雄
 布宮 慈子
 河村 郁子

かすかにも金木犀の香りして秋ふかくなるこの世の夕べ	9月27日	N
金木犀 <small>もくせい</small> のあはき香りにいざなはれ木下に入りて息をひそめる	9月30日	K
みるとなると目につくものが花なれば今日二、三か所金木犀の花	10月3日	O
店先に葡萄並びをり安芸クイーン、シャインマスカット、ロザリオビアンコ	10月8日	N
病床の父に剥きぬしマスカットわが口内に入れたる不覚	10月10日	K
果物を口にすることなさそうな子が来れば梨、柿の皮剥く	10月11日	O
アケビ好き茂吉はいかに食ひしかとアケビの皮を炒めつつ思 <small>も</small> ふ	10月20日	N
スーパ <small>なまこ</small> ーの滑子ワンパック手に取りて山路にたんまり採りし日思ふ	10月23日	K

みちの先垣にまつらうごとくにし烏瓜下るみるなき数に	10月24日	O
南天の赤き実はある小鳥来てつえばむ冬の訪れ近し	11月3日	N
訪ねこし奥つがるの地に満天星 <small>どうだん</small> の朱極まれり 地上の星か	11月5日	K
この秋はかかし祭りの出し物に車いすテニスすは本物	11月6日	O
秋深し介護施設へ送りてのち義母 <small>はは</small> の植ゑたる菊の花摘む	11月7日	N
咲く花の絶えて久しきわが庭の千両の実に朱の色映ゆる	11月9日	K
白かったり紅かったりと生垣に刈り残されて花は椿花	11月14日	O
舞台には赤きドレスの人をりてジャズの歌声ゆふべを満たす	11月19日	N
スーパ <small>ワケン</small> ーの駐車場に赤いW <small>ワケン</small> わが愛車なりしとしばし偲びぬ	11月21日	K
二株というほどの鉢にみることもあやに少なき金欄紫蘇みる	11月24日	O
冬タイヤに替へて雪なし雪国のテレビが映す東京の雪	11月24日	N
雨戸明け見はるわが庭異界なりなべてを覆ふ霜月の雪	11月30日	K



銀杏の葉の落ち切らぬうちに雪が薙ぐNHKの絵にしてみるなき	11月30日	O
暮れ方の美しくなるころ南西の空に相寄る月と金星	12月3日	N
汐留の街路樹に残るわづかなるいちやう黄葉光を受ける	12月9日	K
港区に北限とする櫃ありてためらわず実を拾う人あり	12月10日	O
切られゆく上野の森の大き木はヲウヲウといふ声あげるらむ	12月15日	N
黄葉を落とし終えたる大銀杏すべての枝が青き空指す	12月18日	K
どんな水も拒まぬ海を「同事」という清見寺門にことしさとしは	12月19日	O